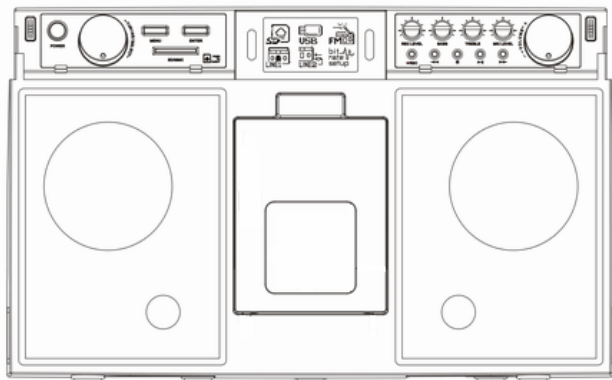


VASO[®]

Multi Function Audio Player

B.Box



取扱説明書・保証書

安全に正しくお使い頂くために

この度は、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を正しくご利用頂くための基本的なお取り扱い方法などが記載されております。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。あなたと他の人々への危害や財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。



ご注意

本製品を使いこなすためには、各種音声コーデックやパソコン、オペレーションシステム(OS)に関する詳しい知識が必要となる場合がございますが、この取扱説明書ではそれらの情報については解説しておりませんので、市販の解説書などをご参考にしてください。また、これらの情報について当社にお問い合わせ頂いても、当社ではご案内出来ませんので予めご了承ください。

本製品の取り扱いについて

- 分解や改造をしないでください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 以下のような場所には保管しないでください。故障や事故の原因となります。
 - 60度以上の高温になる場所
 - 火気付近
 - 窓を閉め切った車内(特に炎天下)
 - 浴室などの湿度の高い場所
 - ほこりの多い場所
- 液晶画面に過度の力を加えないでください。画面や機能を損傷する原因となります。
- クレジットカード・キャッシュカードなどの磁気を帯びた物をスピーカーに近づけないでください。相互故障の原因となります。

- 航空機内や病院など電子機器の使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用機器へ影響を与えることがあります。
- 音量を上げすぎないでください。大音量で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与える可能性があります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 水に濡らさないでください。
- 本製品の側で可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本製品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがございます。
- 本製品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本製品内部の電磁部品などに付着したり、揮発性ガスが本製品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがございます。
- 本製品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・ケガの原因となることがございます。
- 本製品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、ケガの原因となることがございます。
- 本製品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがございます。

電源アダプタの取り扱いについて

- 電源アダプタは、AC 100V(50/60Hz)以外の AC コンセントには、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがございます。
- 電源アダプタは、電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがございます。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがございます。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがございます。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがございます。
- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがございます。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- コード類を、傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると、コード類が破損し、火災・感電の原因となることがございます。
- コード類が傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがございます。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品や電源アダプタに水をかけたり、ぬれた手での操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがございます。
- 本製品をお手入れするときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがございます。
- 本製品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがございます。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- コード類を熱器具に近づけないでください。コード類の被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがございます。
- 本製品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがございます。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 万一、本製品を落したり、破損した場合、または、内部に異物や水が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがございます。
- 本製品を移動するときは、電源アダプタを抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタが電源コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがございます。
- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがございます。
- 本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

アルカリ乾電池の取り扱いについて

- アルカリ乾電池の＋と－の向きは正しくセットしてください。
- 長時間使用しない場合は、アルカリ乾電池をはずした状態にしてください。
- 使用済みのアルカリ乾電池を再充電しないでください。
- 加熱、分解をしたり、火や水の中に放置しないでください。
- ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。
- 被覆のはがれたアルカリ乾電池は使用しないでください。
- 新しいアルカリ乾電池と古いアルカリ乾電池が混在した状態で使用しないでください。
- 取り扱いを誤ると、アルカリ乾電池の液漏れにより、火災や周囲汚染の原因となります。
- 液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

免責事項

- 製品の故障、誤動作などの要因により、データの消失などにおいて、発生した損害などの付随補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品の誤った使用により生じた損害、著作権の侵害などによる請求には、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

著作権について

- 私的用途以外で、著作権、歌唱、あるいは演奏・公奏などの録音物を複製したり、無断で録音することは法律などにより禁じられています。

- 目次 -

製品の特長	9
主な機能	9
その他の機能	9
製品の楽しみかた	10
パソコンで作成した音楽ファイルを聴く	10
FM ラジオを聴く	10
CD の音楽を SD カードへ録音する	10
外部オーディオのスピーカーとして使用する	10
製品各部の名称	11
コントロールパネル①(A 部)	12
コントロールパネル②(B 部)	13
DC 端子(C 部)	14
電池カバー(D 部)	15
入出力端子(E 部)	15
センタードック(F 部)	16
LCD ディスプレイ(G 部)	16
電源について	17
電源アダプタの使用	17
電池の使用	18
電池残量表示	19
電源の ON/OFF	19
メインメニューから各モードの選択	20
メインメニューの操作方法	20

SD カードモード	21
SD/MMC カードのセット	21
SD カードモードの開始	22
ディスプレイの見かた	23
曲(音楽ファイル)の再生	24
再生の一時停止	25
再生の停止	25
曲のスキップ	26
リピート再生	27
A-B リピート再生	28
SD カードモードの終了	28
USB メモリモード	29
USB メモリのセット	29
USB メモリモードの開始	30
ディスプレイの見かた	31
曲(音楽ファイル)の再生	32
再生の一時停止	33
再生の停止	33
曲のスキップ	34
リピート再生	35
A-B リピート再生	36
USB メモリモードの終了	36
ライン①入力モード	37
ポータブルオーディオの接続	37
ライン①入力モードの開始	38
ディスプレイの見かた	38
曲の操作	39
再生中の曲を SD/MMC カードへ録音する	39
ライン①入力モードの終了	41
録音した曲を聴く	41

ライン②入力モード	42
外部オーディオの接続	42
ライン②入力モードの開始	43
ディスプレイの見かた	43
曲の操作	44
再生中の曲を SD/MMC カードへ録音する	44
ライン②入力モードの終了	46
録音した曲を聴く	46
FM ラジオモード	47
FM ラジオモードの開始	47
ディスプレイの見かた	48
手動でラジオチャンネルを選局する	49
ラジオチャンネルを登録する	50
登録したラジオチャンネルを呼び出す	51
放送中の内容を SD/MMC カードへ録音する	51
FM ラジオモードの終了	53
録音した内容を聴く	53
ビットレートセットアップ	54
ビットレートセットアップの開始	54
ディスプレイの見かた	55
音質(ビットレート)の設定	55
ビットレートセットアップの終了	56
故障かな?と思ったら	57
主な製品様仕	59
保証規定	60
保証書	61

製品の特長

主な機能

- 8W x 2 の大音量・高音質デジタル出力アンプ搭載
- MP3、WMA フォーマットの再生に対応
- SD カードからの音楽再生に対応
- iPod(R)などのデジタルオーディオプレーヤーからの音楽再生に対応
- USB メモリからの音楽再生に対応
- MP3 フォーマットへのダイレクト録音が可能
- 2 系統の外部音源入力端子搭載
- FM ラジオの受信・録音が可能
- 低重音・高音補助調整システム搭載
- カラオケシステム搭載
- 単 3 アルカリ電池 8 本使用で 5 時間以上の再生が可能

その他の機能

- アイコンメニュー採用
- 録音音質選択可能
- バックライト付液晶ディスプレイ搭載
- ID3 ファイル表示対応

製品の楽しみかた

パソコンで作成した音楽ファイルを聴く

本製品の **SD カードモード** と **USB メモリモード** では、CD などからパソコンに取り込んで作成した音楽ファイルを聴くことができます。

具体的な操作方法は本説明書の **SD カードモード** または **USB メモリモード** の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.21⇒P.29

FM ラジオを聴く

本製品の **FM ラジオモード** では FM ラジオ放送を受信して聴くことができます。また、放送の内容を SD/MMC カードへ録音することも可能です。

具体的な操作方法は本説明書の **FM ラジオモード** の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.47

CD の音楽を SD カードへ録音する

本製品の **ライン②入力モード** ではお手持ちの CD プレーヤーから SD/MMC カードに音楽を録音することができます。

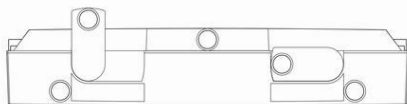
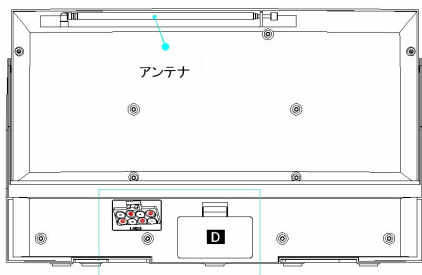
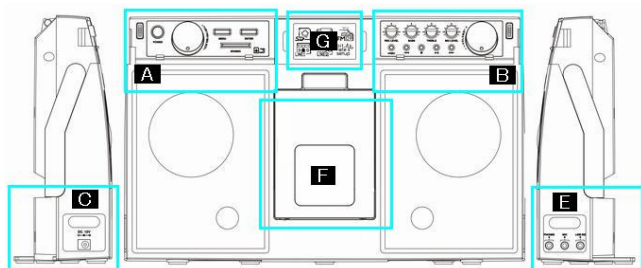
具体的な操作方法は本説明書の **ライン②入力モード** の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.42

外部オーディオのスピーカーとして使用する

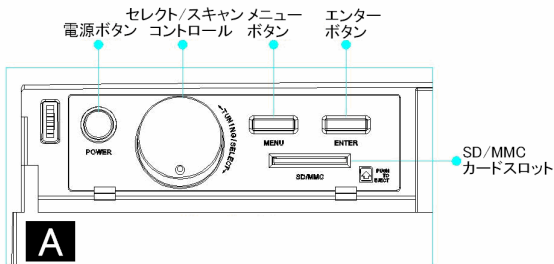
本製品の **ライン①入力モード** と **ライン②入力モード** では、本製品をお手持ちの外部オーディオプレーヤーのスピーカーとして使用することができます。

具体的な操作方法は本説明書の **ライン①入力モード** または **ライン②入力モード** の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.37⇒P.42

製品各部の名称



コントロールパネル①(A部)



●電源ボタン

電源の ON/OFF を行います。

●セレクト/スキャンコントロールツマミ

メニュー選択モードでメニュー選択ツマミとなります。また、FM ラジオモード時では手動スキャンの調整ツマミとなります。

●メニューボタン

メニュー選択モードへ切り替わります。

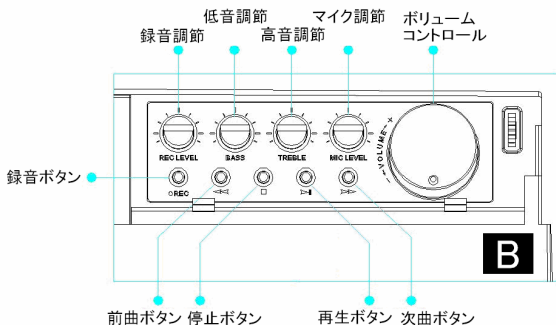
●エンターボタン

選択内容を決定します。

●SD/MMC カードスロット

SD/MMC カードを使用するためのカードスロットです。

コントロールパネル②(B部)



●録音ボタン

外部音源やFMラジオの録音を行います。録音データはカードスロットにセットされている、SD/MMCカードに直接MP3フォーマットとして保存されます。

●録音調節ツマミ

録音時の入力音量を調節します。

●低音調節ツマミ

音楽再生時の出力低音域を調節します。

●高音調節ツマミ

音楽再生時の出力高音域を調節します。

●マイク調節ツマミ

マイク接続時のマイク入力音量を調節します。

●ボリュームコントロールツマミ

音楽再生時の出力音量を調節します。

●**再生ボタン**

音楽を再生します。また、音楽再生時には一時停止を行います。

●**停止ボタン**

再生中の音楽を停止します。

●**次曲ボタン**

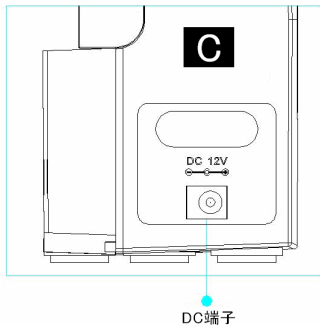
次曲へスキップします。

●**前曲ボタン**

前曲へスキップします。

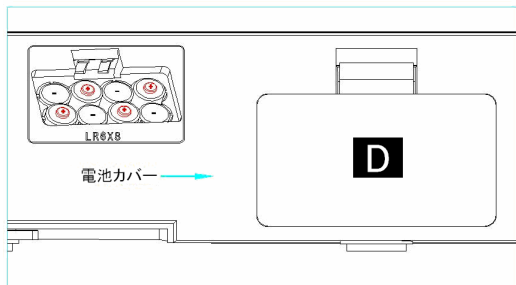
DC 端子(C 部)

電源アダプタを接続します。

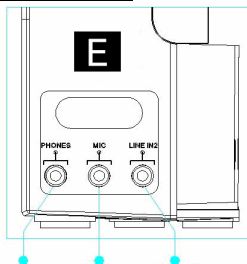


電池カバー(D部)

電池カバーを外し、電池をセットします。



入出力端子(E部)



イヤホン端子 マイク端子 外部オーディオ②接続

●イヤホン端子

イヤホンを接続します。

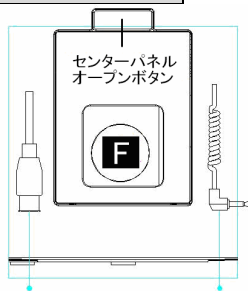
●マイク端子

マイクを接続します。

●外部オーディオ②接続

CD コンポなどの外部オーディオを接続します。

センタードック(F部)



USBメモリ接続 外部オーディオ①接続

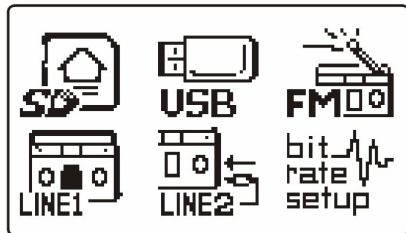
- **センターパネルオープンボタン**
センターパネルを開きます。

- **USBメモリ接続**
USBメモリを接続します。

- **外部オーディオ①接続**
ポータブルプレーヤーなどの外部オーディオを接続します。

LCDディスプレイ(G部)

再生中の曲名や本製品のステータスなどを表示します。

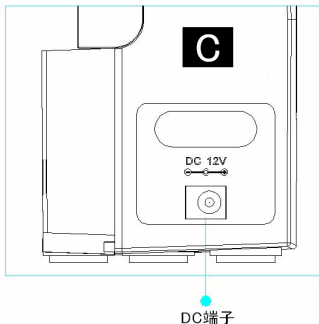


電源について

本製品は付属の電源アダプタ、または単 3 アルカリ乾電池 8 本を電源として動作します。

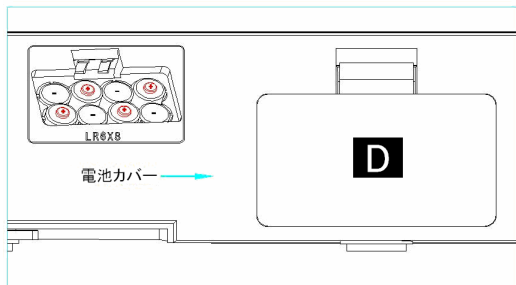
電源アダプタの使用

付属の電源アダプタを電源コンセントに差し込み、DC を本体の DC 端子に差し込んでご使用ください。



電池の使用

本製品背面の電池カバーを取り外し、単 3 アルカリ乾電池 8 本をプラス (+) とマイナス (-) の向きを確かめて正しくセットして、電池カバーを取り付けてください。なお、電源はアダプタ電源が優先されるため、電池使用時に電源アダプタを接続すると、自動的にアダプタ電源へ切り替わります。



ご注意

- ※ 長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管してください。
- ※ 誤った操作をされるとデータが消去される可能性がありますので、電池の出し入れの際は、録音・再生を停止してください。
- ※ 電池の極性を誤ってセットすると、製品の故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

電池残量表示

電池残量のめやすが、ディスプレイに表示されます。

電池残量のめやすにしたがって、お早めの電池交換をお勧め致します。



[残量十分]



[残量やや不足]



[交換時期]



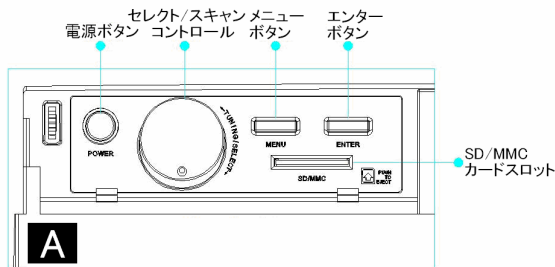
[自動電源 OFF]



ご注意

- ※ 電池の交換時には新品の電池をご使用ください。
- ※ 電池の持続時間はお使いになる条件(電池自身の質量、音量の高低など)により異なります。

電源の ON/OFF



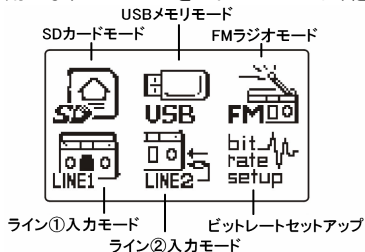
本製品の電源が OFF の状態で、**電源ボタン**を軽く1回押すと、電源を ON にできます。

また、本製品の電源が ON の状態で、**電源ボタン**を軽く1回押すと、電源を OFF にできます。

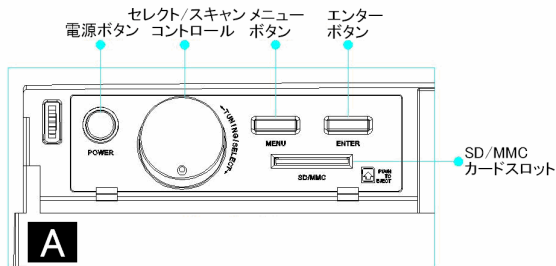
メインメニューから各モードの選択

本製品の電源を ON にすると LCD ディスプレイ(G 部)にモード選択のメインメニューが表示されます。

本製品の操作は基本的にこのメインメニューから開始されます。メインメニューには6つのモードがあり、本製品の電源を ON したら、まず、ご使用になりたいモードをメインメニューより選択してください。



メインメニューの操作方法



セレクトコントロールのつまみ、またはコントロールパネル②(B 部)の前曲/次曲ボタンを操作してご使用になりたいモードを選択し、エンターボタンを軽く1回押してモードを決定してください。

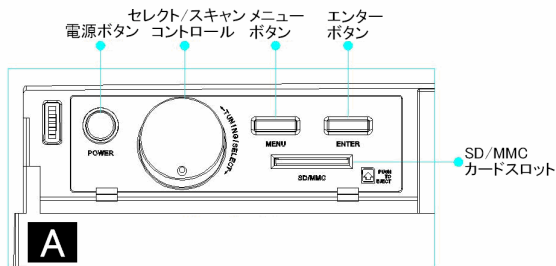
なお、各モードにおいて、再生や録音の停止している状態でメニューボタンを軽く1回押せば、いつでもメインメニューへ戻ることができます。

SD カードモード



SD カードモードでは SD カードまたは MMC カードに保存されている曲（音楽ファイル）を再生します。なお、本製品では Panasonic、東芝、SunDisk 社製の SD カードのご使用を推奨致します。その他のメーカーの SD カードは本製品では動作しない可能性がございますので予めご了承ください。

SD/MMC カードのセット



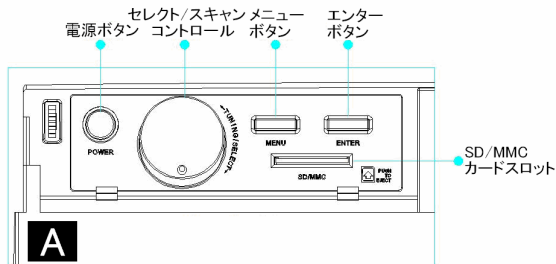
曲（音楽ファイル）が保存されている SD/MMC カードの表面を上にして、正しく、カードスロットへ挿入します。




ご注意

※ SD/MMC カードを誤った方向のまま無理にカードスロットへ押し込むと、本製品または SD/MMC カードの故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

SD カードモードの開始



- (1) メインメニューからセレクトコントロールのツマミを操作して SD カードモード( アイコン)を選択し、エンターボタンを軽く1回押してモードを決定してください。
- (2) ディスプレイに[CARD INITIAL..](カード認識中)と表示され、しばらくすると、保存されている音楽ファイルの曲名(ファイル名)がディスプレイに表示されます。



ご注意

- ※ 本製品は32MB～1GBまでのSD/MMCカードに対応しております。それ以外の容量のSD/MMCカードには動作対応しておりませんのでご注意ください。
- ※ 一部のSD/MMCカードによっては、カード内部のコントローラーとの相性により、本製品で正常に動作しない場合がございますが、相性による認識不具合・動作不具合については保証できませんのでご了承ください。
- ※ SD/MMCカードのフォーマット状態によっては、本製品で正常動作しない場合がございますのでご注意ください。
- ※ パソコンのOS上でSD/MMCカードをフォーマットした場合、一部の電子機器などでSD/MMCカードが正常に動作しなくなる場合がございます。ご利用の環境をご確認の上、適切なフォーマットにてご使用ください。

ディスプレイの見かた



①リPEATモード表示

現在のリピートモード(ALL:全曲リピート/1:1曲リピート)を表示します。再生中にメニューボタンで切替ができます。

②電池残量表示

現在の電池残量を表示します。

③ビットレート表示

現在の曲(音楽ファイル)のビットレートを表示します。

④サンプルレート表示

現在の曲(音楽ファイル)のサンプルレートを表示します。

⑤演奏時間表示

現在の曲(音楽ファイル)の演奏時間を表示します。

⑥再生状況アイコン

現在の曲(音楽ファイル)の再生状況(再生中/停止中/一時停止中)を表示します。

⑦曲名(ファイル名)

現在の曲(音楽ファイル)の曲名(ファイル名)を表示します。

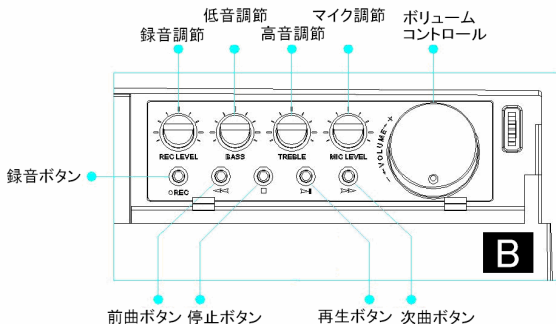
⑧音量表示

再生の音量を表示します。バーが長いほど、大音量です。

⑨フォルダ表示

分母がフォルダ内の全音楽ファイル数を表示し、分子が選択中の曲がフォルダ内の何番目に位置するか表示します。

曲(音楽ファイル)の再生



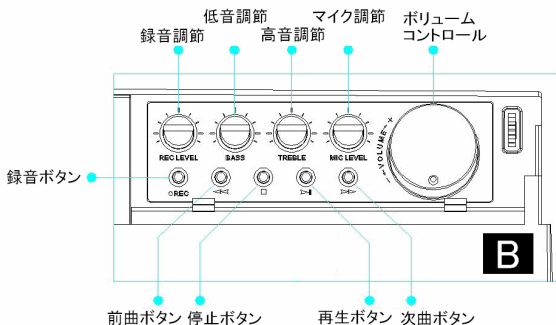
- (1) ディスプレイに音楽ファイルの曲名(ファイル名)が表示されたら、**次曲ボタン**または**前曲ボタン**を操作して、再生したい曲を選択してください。
- (2) 再生したい曲(音楽ファイル)が表示されたら、**再生ボタン**を軽く1回押すと、選択された曲の再生が開始されます。



ご注意

- ※ 本製品の再生に対応している音楽フォーマットは MP3(8kbps～320kbps)と WMA(32kbps～192kbps)のみとなります。それ以外の音楽フォーマットは本製品では再生できませんのでご注意ください。
- ※ 本製品は DRM(デジタル著作権管理)機能が付いた WMA フォーマットの再生には対応しておりません。特にWindowsMediaPlayer(R)で WMA フォーマットの音楽ファイルを作成された場合は、ご注意ください。なお、WindowsMediaPlayer(R)の設定により、DRM 機能を外すことが可能です。

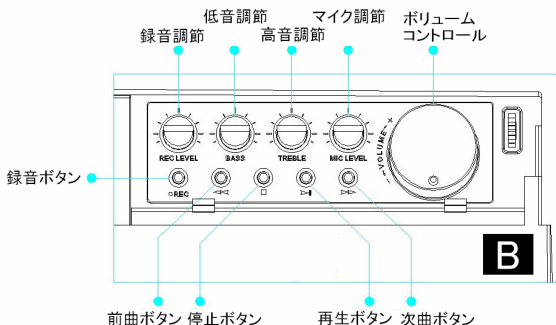
再生の一時停止



曲(音楽ファイル)の再生中に**再生ボタン**を軽く1回押すと、再生が一時的に停止されます。

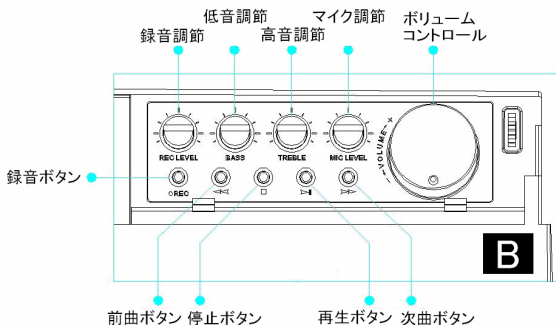
一時停止状態から再生を再開するときは、再度、**再生ボタン**を軽く1回押します。

再生の停止



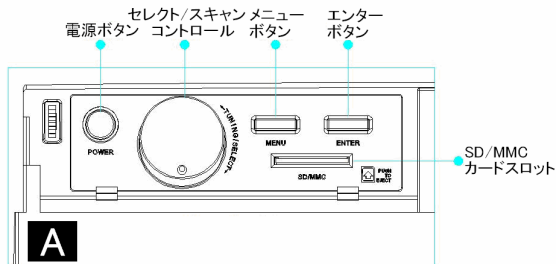
曲(音楽ファイル)の再生中に**停止ボタン**を軽く1回押すと、再生が停止されます。

曲のスキップ



曲(音楽ファイル)の再生中に次曲ボタンを軽く1回押すと、次曲へ、前曲ボタンを軽く1回押すと、前曲へ移り、自動的に再生が開始されます。

リピート再生



曲(音楽ファイル)の再生中に**メニューボタン**を軽く1回押すと、リピート再生(全曲リピート/1曲リピート)を設定することができます。**メニューボタン**を軽く1回押す度に[全曲リピート] ⇄ [1曲リピート]と切り替わります。

[ALL]: 全曲リピート

SD/MMC カードに保存されている曲(音楽ファイル)を順次再生します。最後の曲の再生が終わると、自動的に最初の曲に戻って再生を開始し、それを繰り返します。

[1]: 1曲リピート

指定した1つの曲(音楽ファイル)のみを繰り返し再生します。

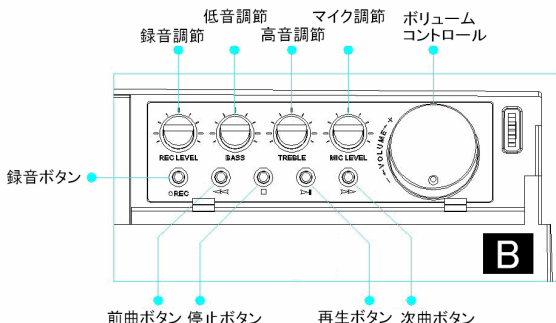


ご注意

※ 再生の停止状態でメニューボタンを軽く1回押すと、メインメニューへ切り替わります。

A-B リPEAT再生

本製品には1つのファイル内の特定の箇所を繰返し再生するA-Bリピートを設定することができます。



- (1) A-B リPEATを設定するには、まず、曲(音楽ファイル)の再生中に繰返し再生させたい箇所の始まりの時点で**録音ボタン**を軽く1回押して、起点Aを設定します。起点Aが設定されると、ディスプレイ下段に[**A**]が点灯します。
- (2) 次に、繰返し再生させたい箇所の終わりに**録音ボタン**を軽く1回押して、終点Bを設定します。終点Bが設定されると、ディスプレイ下段に[**A-B**]が点灯します。その後、自動的に起点Aから終点Bの間を繰返し再生するようになります。
- (3) A-BリPEATを終了するには、**録音ボタン**を軽く1回押すと通常の再生に戻ります。

SD カードモードの終了

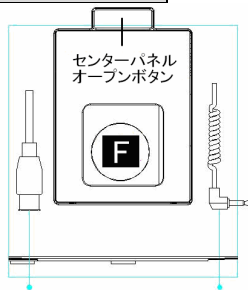
SDカードモードを終了するには、再生中の曲(音楽ファイル)を停止し、**メニューボタン**を軽く1回押します。するとSDカードモードが終了し、ディスプレイがメインメニューに戻ります。

USB メモリモード



USB メモリモードでは USB メモリに保存されている曲 (音楽ファイル) を再生します。

USB メモリのセット



USBメモリ接続 外部オーディオ①接続

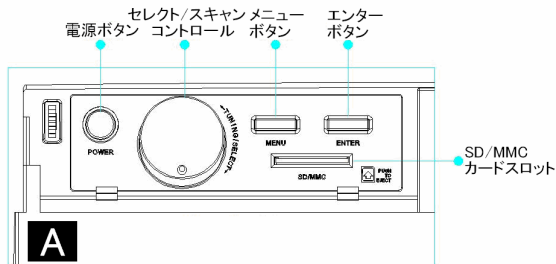
センターパネルオープンボタンを押してセンターパネルを開き、曲 (音楽ファイル) が保存されている USB メモリを正しく、センタードックの **USB メモリ端子**へ接続します。




ご注意

※ USB メモリを誤った方向のまま無理に USB 端子へ押し込むと、本製品または USB メモリの故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

USB メモリモードの開始



- (1) メインメニューからセレクトコントロールのつまみを操作して USB メモリモード ( USB アイコン) を選択し、エンターボタンを軽く1回押してモードを決定してください。
- (2) ディスプレイに[Wait Device] (メモリ認識中) と表示され、しばらくすると、保存されている音楽ファイルの曲名 (ファイル名) がディスプレイに表示されます。



ご注意

- ※ 一部の USB メモリによっては、メモリ内部のコントローラーとの相性により、本製品で正常に動作しない場合がございますが、相性による認識不具合・動作不具合については保証できませんのでご了承ください。
- ※ USB メモリのフォーマット状態によっては、本製品で正常動作しない場合がございますのでご注意ください。

ディスプレイの見かた



①リPEATモード表示

現在のリピートモード(ALL:全曲リピート/1:1曲リピート)を表示します。再生中にメニューボタンで切替ができます。

②電池残量表示

現在の電池残量を表示します。

③ビットレート表示

現在の曲(音楽ファイル)のビットレートを表示します。

④サンプルレート表示

現在の曲(音楽ファイル)のサンプルレートを表示します。

⑤演奏時間表示

現在の曲(音楽ファイル)の演奏時間を表示します。

⑥再生状況アイコン

現在の曲(音楽ファイル)の再生状況(再生中/停止中/一時停止中)を表示します。

⑦曲名(ファイル名)

現在の曲(音楽ファイル)の曲名(ファイル名)を表示します。

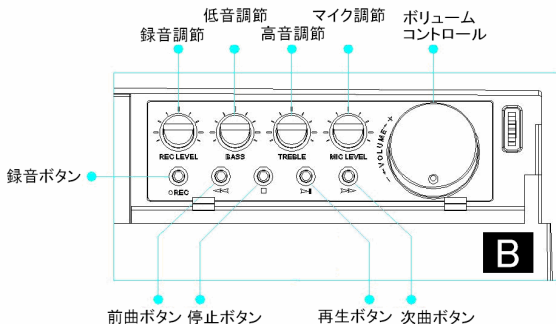
⑧音量表示

再生の音量を表示します。バーが長いほど、大音量です。

⑨フォルダ表示

分母がフォルダ内の全音楽ファイル数を表示し、分子が選択中の曲がフォルダ内の何番目に位置するか表示します。

曲(音楽ファイル)の再生



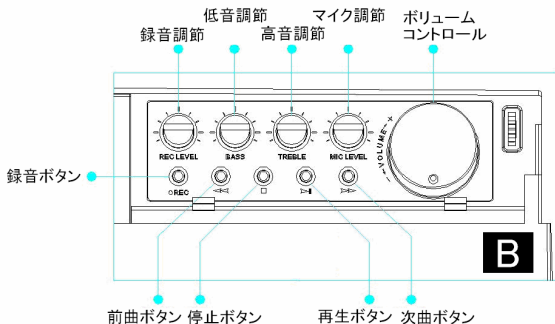
- (1) ディスプレイに音楽ファイルの曲名(ファイル名)が表示されたら、**次曲ボタン**または**前曲ボタン**を操作して、再生したい曲を選択してください。
- (2) 再生したい曲(音楽ファイル)が表示されたら、**再生ボタン**を軽く1回押すと、選択された曲の再生が開始されます。



ご注意

- ※ 本製品の再生に対応している音楽フォーマットは MP3(8kbps～320kbps)と WMA(32kbps～192kbps)のみとなります。それ以外の音楽フォーマットは本製品では再生できませんのでご注意ください。
- ※ 本製品は DRM(デジタル著作権管理)機能が付いた WMA フォーマットの再生には対応しておりません。特にWindowsMediaPlayer(R)でWMAフォーマットの音楽ファイルを作成された場合は、ご注意ください。なお、WindowsMediaPlayer(R)の設定により、DRM機能を外すことが可能です。

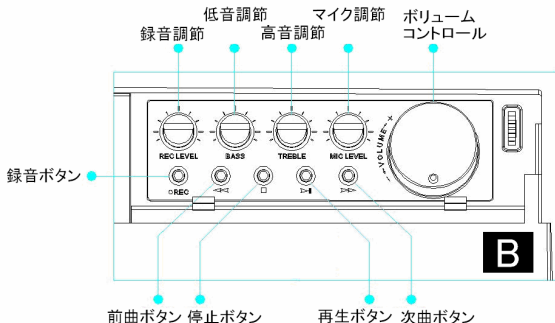
再生の一時停止



曲(音楽ファイル)の再生中に**再生ボタン**を軽く1回押すと、再生が一時的に停止されます。

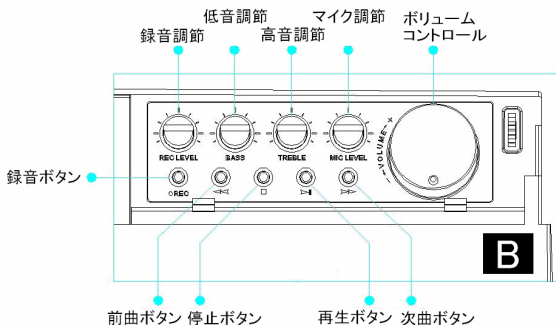
一時停止状態から再生を再開するときは、再度、**再生ボタン**を軽く1回押します。

再生の停止



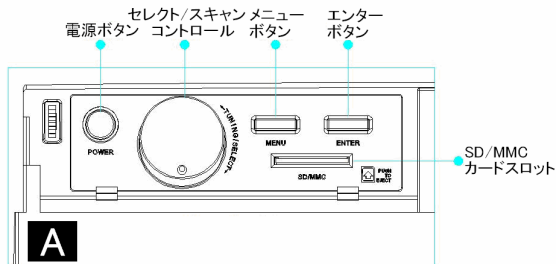
曲(音楽ファイル)の再生中に**停止ボタン**を軽く1回押すと、再生が停止されます。

曲のスキップ



曲(音楽ファイル)の再生中に次曲ボタンを軽く1回押すと、次曲へ、前曲ボタンを軽く1回押すと、前曲へ移り、自動的に再生が開始されます。

リピート再生



曲(音楽ファイル)の再生中に**メニューボタン**を軽く1回押すと、リピート再生(全曲リピート/1曲リピート)を設定することができます。**メニューボタン**を軽く1回押す度に[全曲リピート] ⇄ [1曲リピート]と切り替わります。

[ALL]: 全曲リピート

SD/MMC カードに保存されている曲(音楽ファイル)を順次再生します。最後の曲の再生が終わると、自動的に最初の曲に戻って再生を開始し、それを繰り返します。

[1]: 1曲リピート

指定した1つの曲(音楽ファイル)のみを繰り返し再生します。

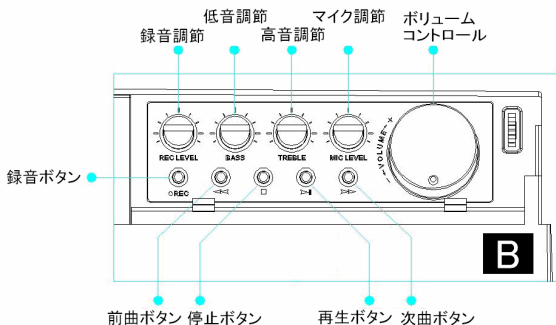


ご注意

※ 再生の停止状態でメニューボタンを軽く1回押すと、メインメニューへ切り替わります。

A-B リピート再生

本製品には1つのファイル内の特定の箇所を繰返し再生するA-Bリピートを設定することができます。



- (1) A-B リピートを設定するには、まず、曲(音楽ファイル)の再生中に繰返し再生させたい箇所の始まりの時点で**録音ボタン**を軽く1回押して、起点Aを設定します。起点Aが設定されると、ディスプレイ下段に[A]が点灯します。
- (2) 次に、繰返し再生させたい箇所の終わりに**録音ボタン**を軽く1回押して、終点Bを設定します。終点Bが設定されると、ディスプレイ下段に[A-B]が点灯します。その後、自動的に起点Aから終点Bの間を繰返し再生するようになります。
- (3) A-Bリピートを終了するには、**録音ボタン**を軽く1回押すと通常の再生に戻ります。

USB メモリモードの終了

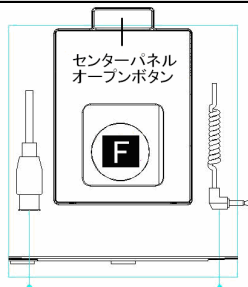
USB メモリモードを終了するには、再生中の曲(音楽ファイル)を停止し、**メニューボタン**を軽く1回押します。するとUSBメモリモードが終了し、ディスプレイがメインメニューに戻ります。

ライン①入力モード



ライン①入力モードではセンタードックの外部オーディオ①端子に接続されたポータブルオーディオなどの音楽を出力します。また、その音楽をSD/MMCカードへ録音します。

ポータブルオーディオの接続



USBメモリ接続 外部オーディオ①接続

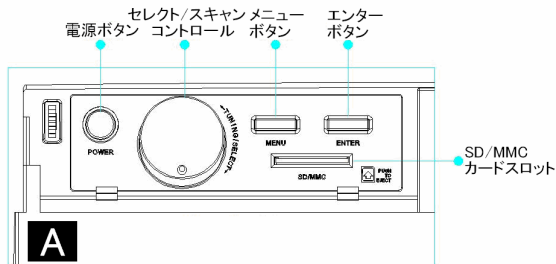
センターパネルオープンボタンを押してセンターパネルを開き、ポータブルオーディオのイヤホン端子をセンタードックの外部オーディオ①端子へ接続します。




ご注意

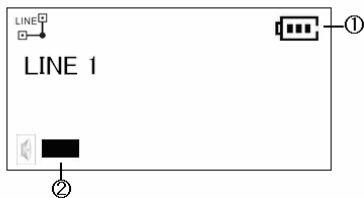
※ 外部オーディオ①端子のサイズは 3.5φ です。それ以外のサイズの端子には対応していませんのでご注意ください。

ライン①入力モードの開始



メインメニューからセレクトコントロールのツマミを操作してライン①入力モード( アイコン)を選択し、エンターボタンを軽く1回押してモードを決定すると、ディスプレイに[LINE 1]と表示されます。

ディスプレイの見かた



①電池残量表示

現在の電池残量を表示します。

②音量表示

再生の音量を表示します。バーが長いほど、大音量です。

曲の操作

ライン①入力モードにおける、曲の再生、停止、イコライザなどの操作は全て、接続しているポータブルオーディオの機能に依存します。

従いまして、曲の操作は全て接続しているポータブルオーディオで行ってください。

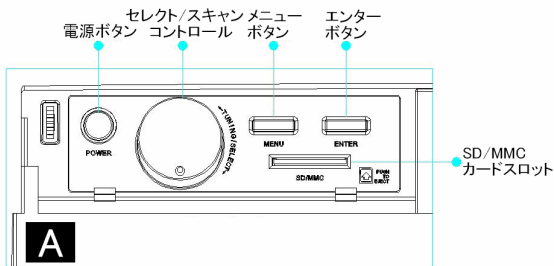


ご注意

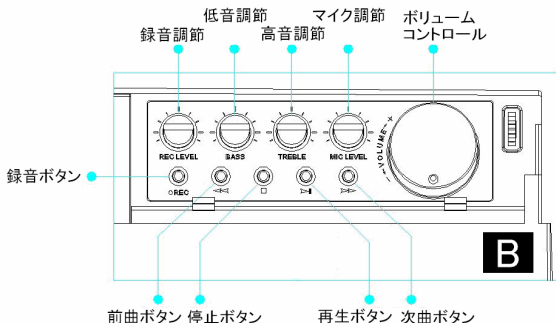
※ 接続しているポータブルオーディオの操作方法は製品ごとの取扱説明書をご参照ください。

再生中の曲をSD/MMCカードへ録音する

ライン①入力モードで再生中の曲を SD/MMC カードスロットにセットされた SD/MMC カードに MP3 フォーマット形式のファイルとして録音することができます。



- (1) 書き込み禁止ロックを解除した、メモリの空き容量が十分ある SD/MMC カードを正しく、カードスロットへ挿入します。



- (2) **録音調節**のツマミを操作して、録音する音量を調節します。
- (3) 録音を開始するには、ライン①入力モードで曲の再生中に**録音ボタン**を軽く1回押します。録音が始まると、ディスプレイに録音ファイル名と録音時間が表示されます。なお、録音ファイル名の左のマークが録音ステータスを表現しており、録音中は[●]と表示されます。
- (4) 録音を一時停止するには、曲の録音中に**再生ボタン**を軽く1回押します。一時停止状態から録音を再開するには、再度、**再生ボタン**を軽く1回押します。なお、一時停止中の録音ステータスは[■]と表示されます。
- (5) 録音を停止するには、**録音ボタン**を軽く1回押します。録音が停止されると、ディスプレイに[DATA SAVE!]と表示され、SD/MMCカードへのデータ保存が完了します。



ご注意

- ※ 録音音質の設定方法は本説明書の**ビットレートセットアップ**の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.54
- ※ SD/MMC カードを書込み禁止でロックしている場合、カードへの録音ができませんので、ロックを解除してお使いください。

ライン①入力モードの終了

ライン①入力モードを終了するには、**メニューボタン**を軽く1回押します。するとライン①入力モードが終了し、ディスプレイがメインメニューに戻ります。

録音した曲を聴く

ライン①入力モードで録音した曲を聴くには、SD カードモードから操作します。具体的な操作方法は本説明書の **SD カードモード**の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.21

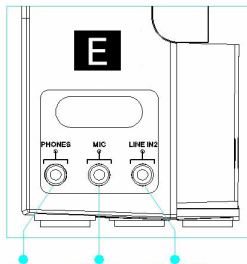
なお、録音した曲を再生しても聴こえにくい場合は、録音する際に**録音調節**のツマミを操作して、録音する音量を大きくし、再度録音をお試ください。

ライン②入力モード



ライン②入力モードでは本製品側面の**外部オーディオ②端子**に接続された外部オーディオなどの音楽を出力します。また、その音楽をSD/MMCカードへ録音します。

外部オーディオの接続



イヤホン端子 マイク端子 外部オーディオ②接続

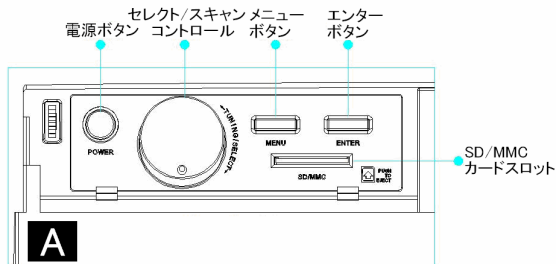
- (1) 本製品側面の**外部オーディオ②端子**に付属のオーディオケーブルの一端を接続します。
- (2) 付属のオーディオケーブルのもう一端を外部オーディオのイヤホン端子に接続します。




ご注意

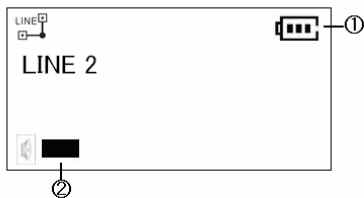
※ 外部オーディオ②端子のサイズは 3.5φ です。それ以外のサイズの端子には対応しておりませんのでご注意ください。

ライン②入力モードの開始



メインメニューからセレクトコントロールのつまミを操作してライン②入力モード( アイコン)を選択し、エンターボタンを軽く1回押してモードを決定すると、ディスプレイに[LINE 2]と表示されます。

ディスプレイの見かた



①電池残量表示

現在の電池残量を表示します。

②音量表示

再生の音量を表示します。バーが長いほど、大音量です。

曲の操作

ライン②入力モードにおける、曲の再生、停止、イコライザなどの操作は全て、接続している外部オーディオの機能に依存します。

従いまして、曲の操作は全て接続している外部オーディオで行ってください。

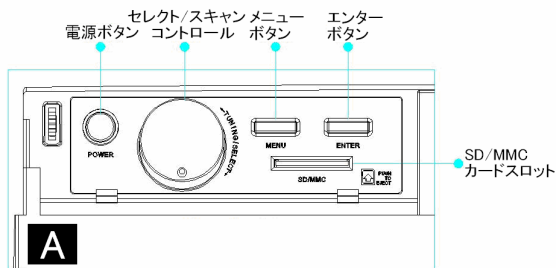


ご注意

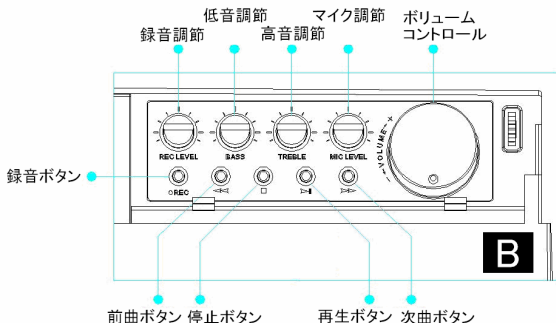
※ 接続している外部オーディオの操作方法は製品ごとの取扱説明書をご確認ください。

再生中の曲を SD/MMC カードへ録音する

ライン②入力モードで再生中の曲を SD/MMC カードスロットにセットされた SD/MMC カードに MP3 フォーマット形式のファイルとして録音することができます。



- (1) 書込み禁止ロックを解除した、メモリの空き容量が十分ある SD/MMC カードを正しく、カードスロットへ挿入します。



- (2) **録音調節**のツマミを操作して、録音する音量を調節します。
- (3) 録音を開始するには、ライン②入力モードで曲の再生中に**録音ボタン**を軽く1回押します。録音が始まると、ディスプレイに録音ファイル名と録音時間が表示されます。なお、録音ファイル名の左のマークが録音ステータスを表現しており、録音中は[●]と表示されます。
- (4) 録音を一時停止するには、曲の録音中に**再生ボタン**を軽く1回押します。一時停止状態から録音を再開するには、再度、**再生ボタン**を軽く1回押します。なお、一時停止中の録音ステータスは[■]と表示されます。
- (5) 録音を停止するには、**録音ボタン**を軽く1回押します。録音が停止されると、ディスプレイに[DATA SAVE!]と表示され、SD/MMCカードへのデータ保存が完了します。



ご注意

- ※ 録音音質の設定方法は本説明書の**ビットレートセットアップ**の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.54
- ※ SD/MMC カードを書込み禁止でロックしている場合、カードへの録音ができませんので、ロックを解除してお使いください。

ライン②入力モードの終了

ライン②入力モードを終了するには、**メニューボタン**を軽く1回押します。するとライン②入力モードが終了し、ディスプレイがメインメニューに戻ります。

録音した曲を聴く

ライン②入力モードで録音した曲を聴くには、SD カードモードから操作します。具体的な操作方法は本説明書の **SD カードモード**の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.21

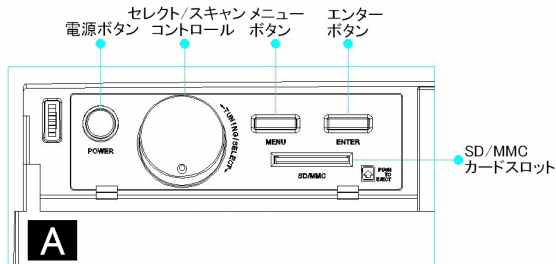
なお、録音した曲を再生しても聴こえにくい場合は、録音する際に**録音調節**のツマミを操作して、録音する音量を大きくし、再度録音をお試しください。

FM ラジオモード



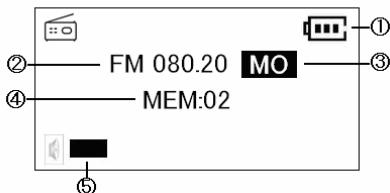
FM ラジオモードでは FM ラジオ受信して聴きます。
また、その内容を SD/MMC カードへ録音します。

FM ラジオモードの開始



メインメニューからセレクトコントロールのツマミを操作して FM ラジオモード (FM アイコン) を選択し、エンターボタン を軽く1回押してモードを決定すると、ディスプレイに [FM XXX.XX] (XXX.XX は周波数) と表示されます。

ディスプレイの見かた



①電池残量表示

現在の電池残量を表示します。

②受信周波数表示

受信中の周波数を表示します。

③モノラル出力表示

モノラル出力中に表示されます。停止ボタンでステレオ/モノラルの出力切替ができます。

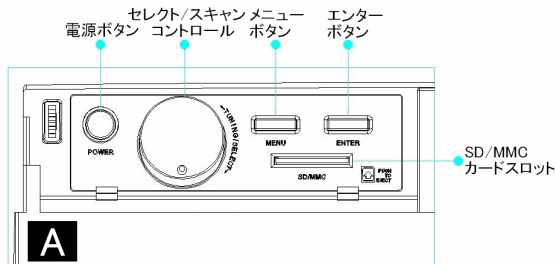
④ラジオチャンネル表示

選択中のラジオチャンネルを表示します。手動スキャン時は表示されません。

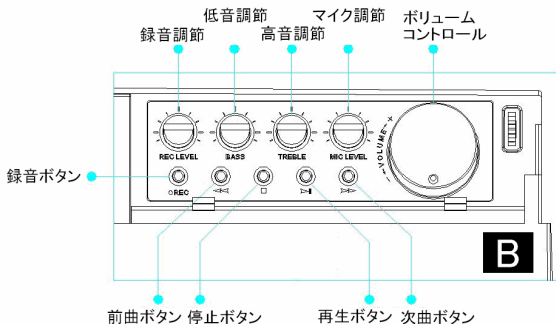
⑤音量表示

再生の音量を表示します。バーが長いほど、大音量です。

手動でラジオチャンネルを選局する



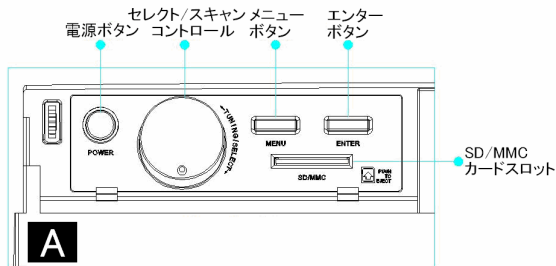
手動でラジオチャンネルを選局するには、スキャンコントロールのツマミを操作して、聴きたいラジオチャンネルの周波数をスキャン(検索)してください。その際、最も電波の受信状況がよくなるように本製品の受信アンテナを調節してください。



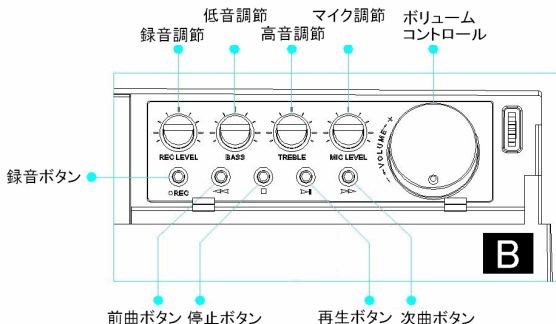
ラジオチャンネルの受信中は停止ボタンでステレオ/モノラルの出力切替ができます。電波の受信状況が弱い、雑音が入る時などはモノラルの出力を選択してください。なお、モノラルの出力を選択するとディスプレイの周波数表示の右横に[MO]と表示されます。

ラジオチャンネルを登録する

普段よく聴くラジオチャンネルを本製品のメモリに登録することができます。放送局は最大で 15 チャンネルまで登録ことができ、登録したラジオチャンネルは選局操作で簡単に呼び出すことができます。

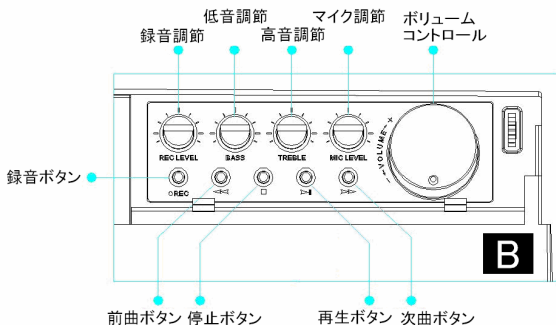


- (1) **スキャンコントロール**のつまみを操作して、登録したいラジオチャンネルの周波数をスキャン(検索)してください。
- (2) **エンターボタン**を軽く1回押すと、ディスプレイに[MEM:XX] (XX は 2 桁のチャンネル番号)と点滅します。



- (3) **前曲/次曲ボタン**を操作して、登録させたいチャンネル番号を選択します。
- (4) **エンターボタン**を軽く1回押して、内容を決定し、操作を完了してください。

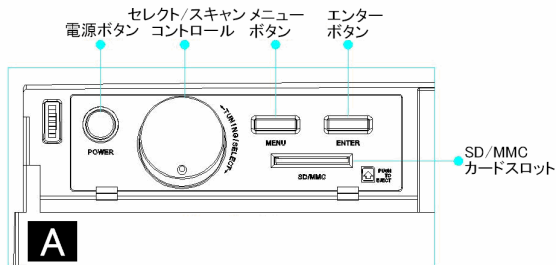
登録したラジオチャンネルを呼び出す



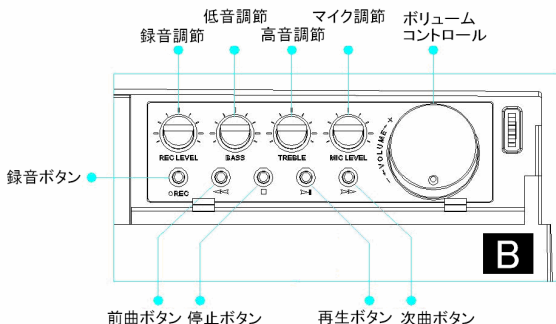
登録したラジオチャンネルを呼び出すには、FM ラジオモードで前曲/次曲ボタンを操作して、登録させたチャンネル番号を呼び出してください。

放送中の内容をSD/MMCカードへ録音する

FMラジオモードで放送中の内容をSD/MMCカードスロットにセットされたSD/MMCカードにMP3フォーマット形式のファイルとして録音することができます。



- (1) 書き込み禁止ロックを解除した、メモリの空き容量が十分あるSD/MMCカードを正しく、カードスロットへ挿入します。



- (2) **録音調節**のツマミを操作して、録音する音量を調節します。
- (3) 録音を開始するには、**録音ボタン**を軽く1回押します。録音が始まると、ディスプレイに録音ファイル名と録音時間が表示されます。なお、録音ファイル名の左のマークが録音ステータスを表現しており、録音中は[●]と表示されます。
- (4) 録音を一時停止するには、曲の録音中に**再生ボタン**を軽く1回押します。一時停止状態から録音を再開するには、再度、**再生ボタン**を軽く1回押します。なお、一時停止中の録音ステータスは[■]と表示されます。
- (5) 録音を停止するには、**録音ボタン**を軽く1回押します。録音が停止されると、ディスプレイに[DATA SAVE!]と表示され、SD/MMCカードへのデータ保存が完了します。



ご注意

- ※ 録音音質の設定方法は本説明書の**ビットレートセットアップ**の説明をご参照ください。●参照ページ⇒P.54
- ※ SD/MMC カードを書込み禁止でロックしている場合、カードへの録音ができませんので、ロックを解除してお使いください。

FM ラジオモードの終了

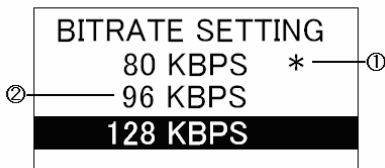
FM ラジオモードを終了するには、**メニューボタン**を軽く1回押します。するとFM ラジオモードが終了し、ディスプレイがメインメニューに戻ります。

録音した内容を聴く

FMラジオモードで録音した曲を聴くには、SDカードモードから操作します。具体的な操作方法は本説明書の **SD カードモード**の説明をご参照ください。●**参照ページ⇒P.21**

なお、録音した曲を再生しても聴こえにくい場合は、録音する際に**録音調節**のツマミを操作して、録音する音量を大きくし、再度録音をお試しください。

ディスプレイの見かた



①設定値マーク

現在設定しているビットレート値の右横に表示されます。

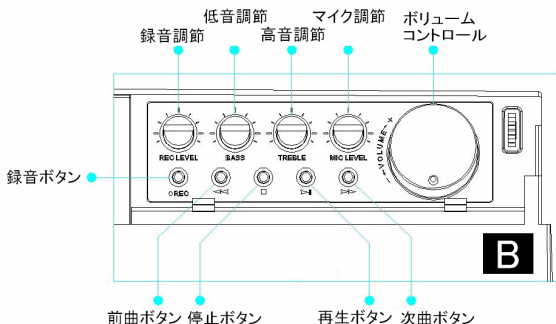
②ビットレート選択表示

録音するビットレート値の選択肢です。80KBPS/96KBPS/128KBPSの中から選択します。

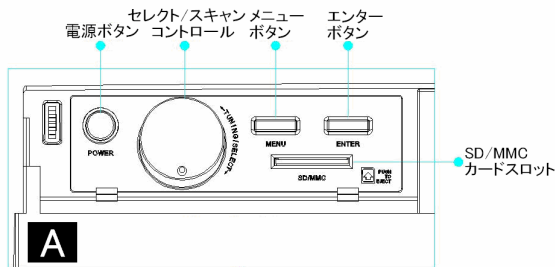
音質(ビットレート)の設定

音質(ビットレート)は[80 KBPS][96 KBPS][128 KBPS]の3種類から選択します。なお、現在設定されている音質(ビットレート)には音質(ビットレート)の右横に[*]マークが付いております。

また、電源起動直後は 128kbps 設定されておりますのでご注意ください。



- (1) **前曲/次曲ボタン**を操作して、設定したい音質(ビットレート)を選択します。



- (2) **エンターボタン**を軽く1回押して、内容を決定し、操作を完了してください。

ビットレートセットアップの終了

ビットレートセットアップを終了するには、**メニューボタン**を軽く1回押します。するとビットレートセットアップが終了し、ディスプレイがメインメニューに戻ります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、まず次の点をご確認ください。

現象	発生するモード	対応
電源が入らない	共通	電源アダプタが正しく接続されているかご確認ください。
	共通	電池残量が十分にあるかご確認ください。
ディスプレイの表示が薄い	共通	電池残量が十分にあるかご確認ください。
音が聞こえない	共通	音量が 0 になっていないかご確認ください。
	LINE1/LINE2	接続している外部オーディオの音量を大きくしてお試しください。
FM 受信がうまくいかない	FM	アンテナと本体の位置を調節してお試しください。
	FM	近くの電子機器の電源を切ってお試しください。
音楽ファイルが再生できない	SD/USB	本製品が対応していない音楽フォーマットを再生しようとしている可能性がございます。本製品が再生に対応している音楽フォーマットは MP3(8kbps～320kbps)と WMA(32kbps～192kbps)のみとなりますので、再生しようとしている音楽ファイルのフォーマットをご確認ください。
	SD/USB	音楽ファイルが壊れていないかご確認ください。
	SD/USB	本製品は DRM(デジタル著作権管理)機能が付いた WMA フォーマットの再生には対応しておりません。再生しようとしている音楽ファイルに DRM が設定されていないかご確認ください。
文字化けがする	SD/USB	再生ファイルに合った正しい言語設定がなされているかご確認ください。
	SD/USB	半角文字と全角文字が混在したテキストの場合は文字化けすることがありますので、文字の種類を1つで書き込んでください。
	SD/USB	半角カナ文字はサポートしておりません。ファイル名に半角カナ文字が使用されていないかご確認ください。

現象	発生するモード	対応
SD/MMCカードが認識されない	SD	本製品が推奨しているメーカー以外のSD/MMCカードを使用している可能性があります。本製品では Panasonic、東芝、SunDisk 社製の SD カードのご使用を推奨しおり、その他のメーカーの SD/MMC カードは本製品で動作しない可能性があります。
	SD	本製品は 32MB～1GB 以外の SD/MMC カードには対応しておりません。本製品が対応しているメモリ容量の SD/MMC カードを使用しているかご確認ください。
	SD	一部の SD/MMC カードによっては、カード内部のコントローラーとの相性により、本製品で正常に動作しない場合がございます。
	SD	SD/MMC カードのフォーマット状態によっては、本製品で正常動作しない場合がございますので、パソコンでフォーマットを行ってからお試しください。
USB メモリが認識されない	USB	本製品は 32MB～1GB 以外の USB メモリには対応しておりません。本製品が対応しているメモリ容量の USB メモリを使用しているかご確認ください。
	USB	一部の USB メモリによっては、カード内部のコントローラーとの相性により、本製品で正常に動作しない場合がございます。
	USB	USB メモリのフォーマット状態によっては、本製品で正常動作しない場合がございますので、パソコンでフォーマットを行ってからお試しください。
SD/MMC カードに録音ができない	FM/LINE1/LINE2	SD/MMC カードを書込み禁止でロックしている場合、カードへの録音ができませんので、ロックを解除してお使いください。
SD/MMC カードに録音ができない	FM/LINE1/LINE2	フォーマットしていない SD/MMC カードを使用している可能性がありますので、パソコンでフォーマットを行ってからお試しください。
録音した曲を再生しても聴こえにくい	FM/LINE1/LINE2	録音する際に録音調節のツマミを操作して、録音する音量を大きくし、再度録音をお試しください。

主な製品仕様

項目	内容
対応 SD/MMC/USB メモリ容量	32MB/64MB/128MB/256MB 512MB/1GB
推奨する SD カードメーカー	Panasonic、東芝、SunDisk 社製
再生対応フォーマット	MP3(8kbps～320kbps)
	WMA(32kbps～192kbps)
	※DRM 非対応
録音フォーマット	MP3
録音サンプリング ビットレート	44.1KHz 80/96/128kbps
スピーカー最大出力	8W x 2
イヤホン最大出力	5mW x 2
周波数特性	20Hz～20KHz
音源	SD/MMC カード、USB メモリ、FM ラジ オ、外部オーディオ音源
FM ラジオ受信周波数帯	76.00MHz～108.00MHz
ディスプレイ	128x64 ドットマトリクス EL バックライト付
外形寸法	(H)222.2mm × (W)360mm × (D)69.7mm
重量	2133g(電池無し)
電源	AC 電源 / 単 3 アルカリ乾電池 8 本
電池持続時間	約 5 時間
付属品	電源アダプタ、オーディオケーブル、 取扱説明書・保証書

※本仕様及びデザインは予告なしに変更することがございます。

保証規定

1. 保証期間中に取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償保証をさせていただきます。
2. 保証期間中の無償保証はサポートID登録をされた方に対して有効です。商品ご購入後30日以内に下記URLよりサポートID登録を行ってください。それ以外の方は商品ご購入日より30日保証とさせていただきます。

<http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

3. この保証書は、本製品の直接購入者に限って適用されるものであり、他人に譲渡することはできません。また個人取引などで購入された商品は保証の対象外となります。
4. この保証書は、本製品が組み込まれるユーザー側のコンピュータ、ハードウェア、その他の関連システム構成などに起因する何らかの互換性を保証するものではありません。
5. 次の各項のいずれかに該当する場合、保証期間中でも保証の責任を負わないものとします。
 - ◎保証書のご提示がない場合
 - ◎保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの及び販売店名の表示のない場合
 - ◎お客様によるお買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障
 - ◎火災、地震、水害、落雷、その他の天災事変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ◎接続しているほかの機器に起因して生じた故障及び損傷
 - ◎商品の故障等によって生じた他の機器への影響やデータ損失などの損害
 - ◎当社以外での改造、調整、部品交換などをされた場合
 - ◎説明書の記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷
 - ◎消耗品類の交換
 - ◎当社で不具合の確認が取れなかった場合
 - ◎外傷が酷い、付属品などが揃っていない場合
 - ◎お客様によるOSやソフトウェアのインストールによって生じた不具合、相性など
 - ◎メーカー保証書があるにも関わらず紛失している場合
6. 交換、修理後の製品の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日とします。
7. この保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
8. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、本製品の使用または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)に関して当社は一切の責任を負わないものとします。

※この保証書は、保証規定に明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

本書は、保証規定内容により、下記の保証期間中に故障が発生した場合に無償修理させて頂くことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、当社まで修理のご依頼の上、本書をご提示ください。

※故障の起因がお客様の過失による場合は有償対応となりますので予めご了承願います。

製品名	B.Box	
保証期間	■ 12ヶ月間 ※サポートID登録された方のみ有効	
ご購入日	年 月 日	
お客様情報	お名前	
	ご住所	〒
	ご連絡先	
	E-mail アドレス	
販売店情報		

ATC アクセルトレーディング株式会社

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島 3-14-9 三好第3ビル 302

サポートID登録用 URL : <http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

FAQ(よくあるご質問とご回答) : <http://www.accel-trade.com/support/faq.html>

E-mail : support@accel-trade.com